



政治に福祉の心 とりもどす年に!



右から、福手ゆう子区議、小竹ひろ子都議、細野真理党中央地区副委員長、金子てるよし、関川けさ子、板倉美千代、島元雅夫、国府田久美子、萬立幹夫区議（特養ホーム 洛和ヴィラ文京春日にて）

民意をふみにじる政治に、 区民共同の力で審判を

安倍政権は年末に、TPP承認、年金カット法案とカジノ法案を強行採決し、その暴走ぶりがあらわになりました。自公政権はいまや、民意無視の強権政治でしか、この国を統治する術をもてなくなっています。

この政治に対して昨年は、市民と野党が共闘する新しい動きで、参院選挙のすべての1人区で野党共闘を実現、11選挙区で勝利するという民意が示されました。

文京区議会でも 大きな変化が

文京区議会でもその変化が、請願採択に表れています。昨年31件提出された請願のうち13件が採択されました。

「南スーダンへの自衛隊派遣の中止を」「原発の再稼働中止」「都バス大塚支所跡地への認可保育園の増設」「認可外保育料の助成を」など、切実な内容ばかりです。11月議会では、公衆浴場のシニア入浴券の隣接区での利用、「湯遊入浴デー」を増やすなどを求める請願が採択されました。実に2年越しの住民の運動の成果です。

今年は、都政に福祉の心を取りもどす年です。市民との共同をさらに大きくして、区民要望実現に全力で頑張ります。

「待機児ゼロ」は道半ば どの子にも良質・平等な保育を!

新年度に向け区は、認可保育園を6園新設して237人の定員増、区が認可する小規模保育園を1園新設で12人増、新設認可園のうち、開設当初4、5歳を募集しない5園で1、2歳児を対象にした「定期利用保育」を行ない40人の定員を増やします。

これにより、「待機」が深刻な0～3歳児の定員増は合計289人となりますが、平成28年4月、認可園に申し込んでも入れない子どもは699人、その内0～3歳は685人でした。区有地を活用した私立認可園の予定は平成30年度に2か所であり、待機児ゼロは道半ばです。

どの子にも平等の保育を提供する責任が自治体にはあり、園庭・ホール・独立した保育室のある区立保育園を含む認可園を求めています。

名称（いずれも仮称）	平成29年度の定員増					定期利用保育
	0歳	1歳	2歳	3歳	1,2歳	
富坂まきば保育園 （小石川2）	9人	12人	12人	19人	9人	
テンドーラビング保育園 千駄木 （千駄木2）	6人	8人	9人	9人	6人	
クオリスキッズ駒込保育園 （本駒込5）	6人	8人	9人	9人	10人	
モニカ茗荷谷保育園 （小石川5）	6人	10人	11人	11人	6人	
こころおちのみず第一 保育園 （湯島1）	9人	13人	13人	13人	9人	
こころおちのみず第二 保育園 （湯島1）	...	9人	13人	13人	...	
このえ本郷三丁目小規模 保育所 （本郷5）	6人	6人				

※定期利用保育の申込書は認可園1・2次申込みの不承諾通知に同封され、2月24、25日に各園で受付・抽選の後、3月6日に結果通知される予定。保育料は月額34300円。



11月議会で日本共産党区議団は「築地市場の豊洲移転計画の抜本的再検討を東京に求める意見書」を提案しました。

食の安全最優先に 豊洲への 市場移転 抜本的再検討を

都民の最大の課題である食の安全に、全会派一致とならずまとまりませんでした。くやしい思いです。土壌汚染の抜本的解決なしの豊洲移転は中止し、区民の食の安全を守るために私も全力でがんばります。（福手ゆう子）



共産党都議団は、この10年余、多くの都民や関係者と共に市場移転に一貫して反対してきました。都は水面下の交渉、土壌汚染承知の上で多額の税金投入など嘘やごまかしを重ね、用地取得しました。昨年9月に都議団の究明で「盛り土なし」が明るみとなり、移転延期へ。都民の皆さんと共同して、移転中止までがんばります。（小竹ひろ子）



区長に予算要望書をわたす日本共産党区議団

日本共産党区議団は11月4日、成澤区長に対して来年度

2017年度 予算要望書を提出

地域への支援拡充を
共産党区議団は、実態調査、

文京区の実態は、生活保護世帯の子どもが111人、就学援助世帯の子どもが1,031人、母子などひとり親世帯の子どもは860人。また、27年度に児童虐待として対応した子どもは505人で、単純な延べ数は2,507人となり、公の援助が必要な子ども達です。

11月本会議で「子どもの貧困」対策を求めました。
文京の「子どもの貧困」は？

「子どもの貧困」の実態明らかに 入学支度金 3月に支給を検討！ 文京区



記事とは関係ありません

放課後補習・塾などの学習支援の拡充、学校・教育委員会・福祉の連携強化、「食の保障」や「〇〇の家」などの地域拠

予算要望書を提出しました。これは、区民との懇談会、アンケートに寄せられた要望をまとめたものです。
要望書は、安保法制（戦争法）が発動されたもとで、区長が憲法99条を遵守し、憲法を守る立場を鮮明にすることを求めています。
また、個人消費が2年連続マイナスのなか、国の医療、介護、生活保護の大改悪がすすむ時こそ、区は過去最高に迫る基金669億円を活用して、子育て、介護、くらしと営業、防災などの施策をさらに充実させるよう申し入れました。

代表質問しました



島元雅夫区議は、11月22日の本会議で、都バス跡地活用（右の記事）、保育園増設、次期「基本構想実施3ヶ年計画」と29年度の「重点施策について」、さらに総合体育館のカビ・さび対策について代表質問しました。

今年度、認可保育園入園決定率55.6%は全国100都市中ワースト6位、園庭保有率は54園中11園20.4%でワースト1位。園庭付き認可保育園増設と保育園給食調理委託の撤回を求めました。

総合体育館はカビ、サビの当面の除去とともに原因究明と早急な抜本対策の検討を要求しました。

国府田久美子区議は、11月25日に本会議で一般質問を行い、子どもの貧困対策（右の記事）と中高生の居場所（ビーラボ）問題、B-ぐる、介護・医療問題、再開発問題について質しました。



B-ぐるの新ルートについては、シルバーパス利用や買物・通院の足、観光地巡りルートの検討を求めました。春日・後楽園駅前再開発は、273億円の税金投入に対応し、区立保育所や介護施設、公的住宅などの確保を要求しました。

また、入学式後の夏に支給されている就学援助の「入学支度金」は、入学前の2、3月に支給すること、支度金の増額、区独自の給付制奨学金の創設を再度要求しました。
区は、その後の文教委員会で、これまで進展がなかった「入学支度金の前倒し支給」について、「3月に支給することを検討している」と明らかにし、大きく前進しました。

入学支度金 前倒し支給実現に

点が苦勞している固定資産税、家賃、水光熱費、人件費等をさらに助成するよう求めました。

都バス大塚車庫跡地 都との「協議」すすむ！ 若者・子育て・高齢者施設に活用を

今年は「都バス大塚車庫跡地」活用の事業者公募の年です。しかし、跡地を区民が願う「区立保育園や特養ホーム、高齢者住宅」などに活用できるかは予断を許さない状況です。

当初、区は「使う考えはない」と言い続け、都交通局にも一度は正式に断った文京区が、区民の声と運動で「整備の方向」に舵を切ったのは半年前の昨年6月議会です。9月議会で区長は「請願の趣旨を都へしっかりと伝え、協議中」と言いましたが、一切内容が明らかにされないことが区民の不安材料でした。11月議



山添拓参院議員と跡地を視察する小竹都議と福手区議

会では財政や福祉施設の面で都との協議が進んでいることが明らかになりました。

共産党区議団は、区民要望を区の計画に生かして都交通局の公募条件へ組み込むこと、財政支援と

あわせ、区議会・区民と一体の協議スタイルを提案しました。

昨年4月、希望する認可保育園に入らなかった子どもが699人、また入所を待つ特養ホーム待機者が663人います。喫緊の課題の「待機児童ゼロ対策や特養待機者解消」は7246㎡の広大なこの跡地活用でこそ可能です。

区政へのご意見・ご要望をお寄せ下さい



島元雅夫



まんだち幹夫



いたくら美千代



こうだ久美子



関川けさ子



金子てるよし



福手ゆう子